



本資料作成日  
令和4年7月

活動前の住まい：京都府  
活動開始時期：令和3年4月～

活動エリア：倉敷・中心市街地  
受入団体：NPO法人 倉敷町家トラスト



## 日々頑張っていること

### ✓ 空き家の再生と利活用

物件の清掃や改装などを通じ、美観地区内や近隣にある空き家の再生・利活用に向けて活動しています。使えるものはなるべく活かしつつ、古民家に関わるキッカケづくりとして学生に参画いただくなど、工夫しながら取り組んでいます。

また、最近では、商店街の中の古い金物屋を改修し、学生が集まる学びの拠点を作る取組に携わり、事業計画づくりや、店に残る古い金物を必要な方にお譲りするイベントの開催などに取り組んでいます。法令等の制約と古いものを守ることの両立の難しさを感じながら日々、奮闘しています。



## ② 協力隊としての活動内容

## ④ 未来のこと

## これからの目標/皆さんへのメッセージ

### ✓ 人と人がつながるコミュニティ空間づくり

買い物など日々の生活の中で小さなコミュニケーションが生まれるような、人と人がつながるコミュニティ空間づくりに取り組みたいと思っています。

協力隊の活動の中では、倉敷の歴史や文化など、次世代につないでいくべきものを学ぶことができました。

多くの方々に倉敷の良さを知っていただき、好きになってもらうために、空き家の改修などを通じて古いものを活かしながら、人と人がつながることができるカフェや本屋などを作りたいと考えています。



## 倉敷に移住した理由

### ✓ 地元・倉敷への想い

県外の大学への進学をきっかけに、地元倉敷の住みやすさや、町並み・雰囲気への魅力を改めて実感しました。倉敷の個性や魅力を残していきたいと思い、地元に戻り、まちづくりに携わりたいと考えました。



### ✓ 自らの経験・スキルを活かした活動がしたい

大学では建築デザイン学科で、建築やランドスケープ、インテリアなど様々な分野を学び、特に場づくりのデザインやコンセプトづくりに力を入れて勉強してきました。これらの知見を活かしながら、古民家の再生・保全に取り組んでいきたいと思い、協力隊の活動を開始しました。

## 楽しかった活動/チャレンジしたこと

### ✓ ガイドブックの作成

伝統的建造物群保存地区の景観保存と暮らしの継承のため、お店の看板の掲げ方やゴミの出し方など、エリア内の皆さんに守っていただきたいお願いごとを整理したガイドブックの作成にチャレンジしています。イラストやアイコンを制作するなど、親しみやすく、分かりやすい内容となるよう工夫を凝らしています。



### ✓ 蔵出し市の開催

空き家の改修の際に出てきた昔の食器や古道具など、必要がなくなったものを集めた「蔵出し市」を開催しました。物が循環する場を作ることで、住民や観光客の皆さんとの交流も生まれ、町家の保全活動を知ってもらうキッカケになりました。

## ① 倉敷・まちづくりへの想い

## ③ 活動の中でのやりがい